

令和8年1月30日開会

ごみ処理施設等調査 特別委員会会議録

鳥取県西部広域行政管理組合議会

ごみ処理施設等調査特別委員会会議録

~~~~~

## 日 程

日 時 令和8年1月30日（金）  
組合議会臨時会閉会后  
場 所 米子市淀江支所 議場

- 1 開 会
- 2 報告案件
  - (1) 新しい一般廃棄物処理施設の建設に係る構成市町村の財源確保の状況について
  - (2) 第2最終処分場浸出水処理施設電気設備の更新について
- 3 閉 会

~~~~~

出席者（7名）

委員長	中田 利幸	副委員長	山本 芳昭
委員	奥岩 浩基	委員	渡辺 穰爾
委員	景山 浩	委員	勝部 俊徳
委員	阿部 朝親		

~~~~~

## 欠席者（1名）

委員 森岡 俊夫

~~~~~

説明のため出席した者

副管理者 米子市副市長	伊澤 勇人	事務局長	深田 龍
事務局次長兼ごみ処理施設整備課長	相野 秀樹	事務局総務課長	米田 克宏
事務局施設管理課長	本池 将	事務局総務課長補佐兼入札財政担当課長補佐	近藤 隆
事務局施設管理課ごみ処理施設維持担当課長補佐	安田 憲	事務局施設管理課係長	前澤 康人

~~~~~

## 議 会 担 当 職 員

書記長 瀬尻 かおり 書記 伏野 哲彦

~~~~~

1 開 会 (午後2時16分)

○中田委員長 ただいまより、ごみ処理施設等調査特別委員会を開会いたします。
本日は、森岡委員から欠席の届出がありましたので、御報告いたします。

~~~~~

### 2 報 告 案 件

○中田委員長 それでは、日程2の報告案件に入ります。

報告案件は2件ございます。これらにつきまして、まず、当局から説明を受け、その後で質問を受けたいと思いますので、よろしく願いいたします。

では、(1)新しい一般廃棄物処理施設の建設に係る構成市町村の財源確保の状況についてを議題といたします。

当局から説明をお願いします。

米田事務局総務課長

○米田事務局総務課長 そういたしますと、資料1を御覧ください。新しい一般廃棄物処理施設の建設に係る構成市町村の財源確保の状況についてでございまして、令和7年度末見込み額を御報告させていただきます。

令和14年度に供用開始を予定している新しいごみ処理施設の建設に係る財源確保に関する構成市町村の状況につきまして、各構成市町村の積立目標額と令和7年度末現在の基金残高を一覧にしておりますので、御確認ください。各構成市町村におかれましては、基金への積立てまたは過疎対策事業債を活用して財源を確保されるところでございます。令和9年度末までの期間におきまして、積立目標額41億1,870万8,000円を御準備いただくところでございます。

簡単ですが、説明は以上でございます。

○中田委員長 当局から説明がありました。委員の皆様から質問等ありましたらお願いいたします。ございませんか。

ないようですので、次に進ませていただきます。

次に、(2) 第2最終処分場浸出水処理施設電気設備の更新についてを議題といたします。  
当局から説明をお願いいたします。

本池事務局施設管理課長。

**○本池事務局施設管理課長** それでは資料2について説明させていただきます。第2最終処分場浸出水処理施設電気設備の更新についてでございます、いわゆる最終処分場からの排水を処理する設備でございます、経緯につきましては、記載のとおりでございます。主に制御盤などの電気設備につきましては、処分場から排水されます浸出水中の塩分によりまして塩害が発生していることから、劣化が著しい制御盤などの電気設備を更新しまして、機能回復と施設の延命化を図るものでございます。

まず、(1)の設備の現状でございますが、平成25年度に整備・更新しました制御盤などの電気設備につきましては、基本的に法定耐用年数が15年程度の対応を見込んで想定しておりまして、令和10年度の更新を予定しておりましたが、想定を超える塩害により著しく腐食が進行している状況でございます、ケーブルの焼損ですとか断線が多発している状況でございます。

詳細につきましては、後ほど写真を用いて説明させていただきます。

続きまして、(2)の対応処置の現状でございます。こちらにつきましては、設置者の環境プラント工業に委託業務の範囲内で対応していただいておりますけれども、感電事故や処理停止のリスクが高い状況にありまして、改善が必要な状況でございます。

続きまして、2の対応方法(案)でございます。処分場が廃止されます令和31年度末までの間に、機能維持を図る必要がございますので、腐食した制御盤本体の更新、それから再発防止策といたしまして、高温多湿の塩害環境から隔離するため制御盤室を新たに整備いたしまして、そこへ設備を移設する考えでございます。

続きまして、2ページ目でございます。3の概算金額及び支払方法等についてでございます。更新費用につきましては、組合の概算設計金額で1億5,340万円といたしまして、令和8年度中に実施を予定し、令和8年度末の完成払いを予定してございます。また金額の内訳は、参考で記載のとおりでございます、4面ある盤の制御盤を更新するものでございます。

それから、4でございます。組合が費用を負担する根拠でございますが、この下の四角囲いの協定に基づきまして、組合が負担することになってございます。ただ、その中で負担方法につきましては、双方で協議し決定するというところでございますので、設置者の見積金額に対しまして、積算基準などをベースに複数社の見積り比較などを行い、精査した設計金額で価格交渉をさせていただき予定でございます。

また、5の財源の充当方法でございます。令和8年度当初予算編成の際に、リサイクルプラザなどの維持補修費や運転事業費の精査などによりまして生じた残額約9,900万円を充当いたしまして、不足分につきましては組合予算全体の事業費で賄うことといたしまして、市町村負担金の増額とならないように調整を図ってございます。

それから、3ページ目でございます。参考といたしまして、1、最終処分場の工事費でござ

ございます。協議中の金額もございますけれども、閉鎖を予定する令和31年までの工事費用の見積額を記載しております。その中で、下の部分でございますけれども、工事経費合計のパターン分けにつきまして赤枠で囲った部分につきましては、制御盤室を設けまして延命化を図った場合の費用を比較したものでございまして、約8,000万円の減額効果が見込めるものでございます。

それから、最後でございますが、資料2の別紙でございます。こちらに、それぞれ4面ある盤の劣化状況の写真を添付してございます。それから、その他といたしまして不具合履歴ですとか濃縮水処理施設、それから浸出水処理施設の配置図なども添付してございますので、後ほど御確認いただければと思います。説明は以上でございます。

**○中田委員長** 当局の説明が終わりました。委員の皆様から質問等がありましたらお願いいたします。

阿部委員。

**○阿部委員** 2、3伺いたいのですが、塩分濃度1万8,000ppmというのは、浸出水の塩分濃度ということで間違いないですね。

**○中田委員長** 本池事務局施設管理課長。

**○本池事務局施設管理課長** おっしゃるとおりで、浸出水中の塩分濃度でございます。

**○中田委員長** 阿部委員。

**○阿部委員** 浸出水の塩分濃度1万8,000ppmがどのような状況で操作盤に塩害が発生するというものの原因は調査されておりますか。

**○中田委員長** 本池事務局施設管理課長。

**○本池事務局施設管理課長** 濃縮水処理施設の中に、浸出水中の塩分濃度1万8,000ppmですので、海水に近いような塩分濃度のものをくみ上げて、ろ過膜を通したりですとか、その辺りでどうしても施設内に水蒸気や湿度が充満するところから、それぞれの塩分が盤ですとか、その辺りに付着いたしまして、そこから酸化劣化していくような状況であるというふうに把握してございます。

**○中田委員長** 阿部委員。

**○阿部委員** そのような状況だろうとは思いますが、空気中の塩分濃度に伴うその場の状態で、操作盤をむき出しにしているということ自体がどうかという気はしておりますし、また、これを見た限りでは、盤のさび発症関係は何ら手当がしてないような感じを受けるんですけども、途中、さびを落として操作盤の延命化を図るとか、それから端子盤の保護をするとかということ自体はやっておられなかったのでしょうか。

**○中田委員長** 本池事務局施設管理課長。

**○本池事務局施設管理課長** この辺りも、設置者であります環境プラント工業とともに、いろいろ対策をしていたところでございます。大型扇風機を用いて換気をしたりですとか、再塗装で、いろいろなところの部分塗装を重ね重ね行ったりですとか、そういった対応をしておったところですが、やはりそれ以上に進行が早かったということで、今回この更新に至ったものでございます。

○中田委員長 深田事務局長。

○深田事務局長 補足で御説明させていただきます。そのような対策を取ってこれまでやってきたところでございますが、最後のページにございます図面を見ていただけますでしょうか。そちらの青で囲ってある部屋の中に、緑でお示ししておりますR O装置のインバーター盤ですとか制御盤がございます。下のほうに黒く塗りつぶしてあるところが、R O膜の施設でございます。同じ部屋の中にある状況でございますので、先ほどの塩分を含んだ水蒸気で腐食が進んでいるということでございます。今回は、この上のほうに書いてございます赤の位置に、制御盤室を設けまして、その中に制御盤等電気設備を移設いたしまして、この水蒸気の影響を受けないように、中に空調もございまして、今後、制御盤の部品交換だけで済むように、全て更新ということはないように対策を考えているところでございます。以上でございます。

○中田委員長 阿部委員。

○阿部委員 先般もテレビでやっていましたが、羽田飛行場は海の上にあるということで、塩害をどうにかしないといけないということでやっておりましたが、除湿機ですね。送風とか、それはよくわかりますけども、やはり空気を送るということは、どこかから入ってきているわけですね。いい空気を換気するならいいですけども、この状態で換気ということは、それほどいい空気が入ってこないと思いますので、換気もさることながら除湿をする必要があるかと思っておりますけども、そこら辺の検討はされていませんか。

○中田委員長 深田事務局長。

○深田事務局長 今後設置いたします制御盤室の中では、そのような対策を取らせていただくと考えております。

○中田委員長 よろしいですか。

○阿部委員 すみません、もう一遍お願いします。

○中田委員長 阿部委員。

○阿部委員 5ページの中ほど右側ですけども、この締めつけボルトの変色はさびが原因なんですか。それとも接触不良で温度変化が原因で変色しているのでしょうか。

○中田委員長 安田事務局施設管理課ごみ処理施設維持担当課長補佐。

○安田事務局施設管理課ごみ処理施設維持担当課長補佐 5ページの写真中ほどの締めつけボルトの変色の原因についての御質問かと思えます。こちらのさびにつきましても、制御盤内に入り込んだ湿度によるものと想定しております。以上です。

○中田委員長 よろしいですか。

○阿部委員 はい、よろしいです。ありがとうございました。

○中田委員長 ほかにございませんか。

ほかにないようですので、当局からの説明を終わります。

~~~~~

3 閉 会

○中田委員長 これをもちまして、ごみ処理施設等調査特別委員会を閉会いたします。

(午後2時29分 閉会)

鳥取県西部広域行政管理組合議会委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

ごみ処理施設等調査特別委員長

中 田 利 幸